

別記様式第6号

産地活性化総合対策事業（国産花きイノベーション推進事業）に関する事業評価票

都道府県名	事業実施主体名	事業実施初年度	事業費（うち国費）	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況				具体的な取組内容	事業内容（検討会構成員、実施回数、実証試験の内容等）	地方農政局長等の意見
					基準年（計画策定時）	目標年（平成30年）	目標値	達成度合			
福岡県	花あふれるふくおか推進協議会	26年度	4,924,965 (4,266,000)	福岡県内花き生産量	(H24) 285,140千本 (千鉢)	230,180千本 (千鉢)	290,000千本 (千鉢)	0%	・花き関係者の連携への支援 ・生産・供給体制の強化	・構成員：福岡県、福岡県花き園芸連合会、全国農協協同組合連合会福岡県本部、福岡県花き市場協議会、福岡県花商団体連合会	花き関係者の連携への支援や炭酸ガス施用による品質向上、収量増加技術等の実証に取り組んだものの、生産者の高齢化等により作付面積が減少し、生産量が減少したことから未達成となった。 今後は、事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、成果目標の達成に向けた取組を指導する。
佐賀県	佐賀県花づくり推進協議会	26年度	16,867,873 (14,510,000)	佐賀県におけるトルコギキョウ産出額	(H27)1億円	2億円	2億円	100%	・地域協議会の運営 ・需要に応じた国産花きの生産及び安定供給技術の実証 ・フラワーコンテスト、シンポジウム等の開催 ・学校・福祉施設等での花育体験推進	・構成員：佐賀県農業協同組合、佐賀県花き生産団体連合会、(株)佐賀花市場、(株)唐津花市場、佐賀花商組合、唐津花商組合、佐賀県	安定生産・安定供給に向けた取組の推進、連作圃場での立枯れ性病害対策の指導、高品質で安定的な生産の推進等を行ったことにより、トルコギキョウの産出額の向上につながり目標を達成することができた。
長崎県	長崎県国産花き振興地域協議会	26年度	10,173,132 (9,354,895)	長崎県輪ギク出荷量	(H24) 61,300千本	53,600千本	62,500千本	0%	・花き関係者の連携への支援 ・国産花きの強みを活かす生産・供給体制の強化 ・国産花きの需要拡大	・構成員：長崎県花き振興協議会、長崎県農林部農産園芸課、長崎県花き園芸連合会、長崎県花き園芸農業協同組合、長崎花商協同組合、佐世保花き園芸農業協同組合、一般社団法人JFTD長崎支部、長崎県花き振興協議会(キク・カーネーション・バラ・洋アソ・鉢物・草花部会)	キク白さび病について、当該病害対策の研修会及び現地指導を実施し、発生は少なくなったものの、春季の販売単価低迷と夏秋キク品種の主力である「精の一世」の夏季高温により立枯れ症が発生し出荷量が減少したため、未達成となった。 今後は、事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、成果目標の達成に向けた取組を指導する。
大分県	大分県花き産業振興協議会	26年度	7,651,052 (7,651,052)	大分県花き産出額	(H24)58億円	53億円	60億円	0%	・花き関係者の連携への支援 ・生産技術向上支援 ・フラワーコンテスト、花文化展示会、シンポジウム等の開催 ・学校・福祉施設等での花育体験推進	・構成員：大分県花き生産者協議会、大分県園芸花市場、丸果大分大同青果、別府花市場、中津花市場、大分園芸花商組合、大分花商業組合、別府花商組合、中津花商組合、夢一輪の会、フラワー装飾大分県技能士会、日本フラワーデザイン協会大分県支部、大分市華道協会、別府いけばな協会、大分県農林水産部園芸振興室、大分県農林水産研究指導センター農業研究部花きグループ、JA花き販売対策協議会、日本生花通信配達協会大分県支部、ジャパンフラワーネットワーク大分県支部、大分県園芸活性化協議会	フラワーフェスティバルを開催する等、県産花きの振興を図ってきたものの、生産農家のリタイヤに伴う作付面積及び生産量が減少し未達成となった。 今後は、事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、成果目標の達成に向けた取組を指導する。
宮崎県	「みやざき花で彩る未来」推進協議会	26年度	3,000,000 (3,000,000)	宮崎県花き産出額	(H24) 89.6億円	78億円	90.0億円	0%	・協議会の設置、運営 ・産地間連携の取組の実施 ・需要に応じた国産花きの生産及び安定供給技術の実証 ・フラワーコンテスト、シンポジウム等の開催 学校 ・福祉施設等での花育体験推進	・構成員：宮崎県、宮崎県JA花き協議会、宮崎県花き生産者連合会、宮崎県花き卸売市場連絡協議会、宮崎県生花商組合連合会、JA宮崎経済連	花の祭典を開催する等、県産花きの振興を図ってきたものの、近年の天候不順及び高齢化による生産規模が縮小した影響で生産量が減少し、未達成となった。 今後は、事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、成果目標の達成に向けた取組を指導する。

別記様式第6号

産地活性化総合対策事業（国産花きイノベーション推進事業）に関する事業評価票

都道府県名	事業実施主体名	事業実施初年度	事業費(うち国費)	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況				具体的な取組内容	事業内容(検討会構成員、実施回数、実証試験の内容等)	地方農政局長等の意見
					基準年(計画策定時)	目標年平成30年	目標値	達成度合			
福岡県	花あふれるふくおか推進協議会	27～29年度	31,177,922円(30,151,000円)	福岡花市場取扱量	(H27) 116,201千本(千鉢)	103,741千本(千鉢)	128,000千本(千鉢)	0%	・花き関係者の連携への支援	・構成員：福岡県、福岡県花き園芸連合会、全国農協協同組合連合会福岡県本部、福岡県花き市場協議会、福岡県花商団体連合会	福岡花市場取扱量について、先進地域との技術交流会を開催し、出荷時期の調整等の検討を行った結果、課題の共有化や振興計画の策定につながったものの、生産者の高齢化等により生産量が減少したため未達成となった。 福岡花市場の輸出額について、海外でのプロモーションイベントを開催したものの、平成29年度以降、輸送コストの高騰等により輸出量が減少したことから未達成となった。 県内主要花市場での県内流通金額指数(販売額)について、フラワーフェアや花育体験を実施し、県産花き等のPRはできたものの、葬儀等大口の需要が減少したため販売額が減少したことから未達成となった。 花育体験人数について、学校・福祉施設等での花育体験を実施し、花の購入頻度が増加した保護者や今後も取り組みたい施設の割合は増加したものの、体験人数がわずかに目標に及ばず、未達成となった。 今後は、事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、成果目標の達成に向けた取組を指導する。
				使用済み鉢回収	-	(H29)99鉢	50鉢	198%	・園芸資材リサイクルシステムの検討・実証		
				福岡花市場の花き輸出額	(H27) 6,080千円	5,811千円	6,688千円	0%	・花文化と併せた国産花きの情報発信		
				フラワーフェスティバル来場者数	(H27) 37,000人	(H28) 36,000人	11,000人以上	327%	・フラワーコンテスト、花文化展示会、シンポジウムの開催		
				県内主要花市場での県内流通金額指数について平成27年度の101%の目標	(H27)100%	94%	101%	0%			
				花育体験人数	(H27)499名	1,576名	1,600名	99%	・学校・福祉施設等での花育体験推進		
				花育体験をして購入頻度が増加した保護者の割合	-	38%	10%	380%			
今後も取り組みたい施設の割合	-	(H29)100%	50%	200%							

都道府県名	事業実施主体名	事業実施初年度	事業費(うち国費)	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況				具体的な取組内容	事業内容(検討会構成員、実施回数、実証試験の内容等)	地方農政局長等の意見
					基準年(計画策定時)	目標年(平成30年)	目標値	達成度合			
佐賀県	佐賀県花づくり推進協議会	27年度～29年度	6,466,211円(5,280,000円)	佐賀県における主要花きの1戸あたりの施設栽培面積	(H27)33.6a	38.5a	37.0a	144%	<ul style="list-style-type: none"> 花き関係者の連携への支援 フラワーコンテスト、花文化展示会、シンポジウムの開催 花文化と併せた国産花きの情報発信 学校・福祉施設等での花育体験推進 	・構成員：佐賀県農業協同組合、佐賀県花き生産団体連合会、(株)佐賀花市場、(株)唐津花市場、佐賀花商組合、唐津花商組合、佐賀県	佐賀市における1世帯当たりの切り花購入金額について、小学校や生花店、福祉施設等で花育体験を幅広く実施し、体験者に行ったアンケートでは購入頻度は高かったものの、家計調査による結果としては未達成となった。 今後は、事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、成果目標の達成に向けた取組を指導する。
				佐賀市における1世帯当たりの切り花購入金額	(H27)9,118円	8,129円	9,121円	0%			
				小学生等を対象とした花の教室	—	(H28)1,579人	1,350人	117%	<ul style="list-style-type: none"> 学校・福祉施設等での花育体験の実施 		
				花育を体験した保護者のうち購入頻度が1回以上増加した割合	—	(H29)35.6%	25%	142%			
				今後福祉園芸体験に取り組みたいという施設の割合	—	(H29)94.3%	50%	189%	<ul style="list-style-type: none"> フラワーコンテスト、花文化の展示会等の開催 		
				フラワーアレンジによる花装飾(花文化展示会)の観覧者数	—	(H28)2000名程度	500名程度	400%			
				花文化展示会を通じて家に花を飾りたいと感じた人の割合	—	(H29)92%	25%	368%			

都道府県名	事業実施主体名	事業実施初年度	事業費(うち国費)	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況				具体的な取組内容	事業内容(検討会構成員、実施回数、実証試験の内容等)	地方農政局長等の意見
					基準年(計画策定時)	目標年(平成30年)	目標値	達成度合			
長崎県	長崎県国産花き振興地域協議会	27-29年度	16,377,575円(15,418,000円)	長崎県ギク類出荷量	(H25) 70,500千本	58,200千本	72,900千本	0%	・花き関係者の連携への支援 ・国内外の需要に対応した生産・供給体制の検討 ・花文化と併せた情報発信	・構成員：長崎県花き振興協議会、長崎県農林部農産園芸課、長崎県花き園芸連合会、長崎県花き園芸農業協同組合、長崎花商協同組合、佐世保花き園芸農業協同組合、一般社団法人JFTD長崎支部、長崎県花き振興協議会(キク・カーネーション・バラ・洋ラン・鉢物・草花部会)	長崎県ギク類出荷量について、春季の販売単価低迷と夏秋キク品種の主力である「精の一世」の夏季高温による立枯れ症発生により出荷量が減少したため、未達成となった。 長崎市の切花の1世帯あたりの年間購入額について、花育で実施したアンケートでは花き購入頻度が増加した人の割合は高かったものの、家計調査による結果としては未達成となった。 今後は、事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、成果目標の達成に向けた取組を指導する。
				長崎県花き輸出量	(H28) 6.4百万円	9.6百万円	7.1百万円	457%			
				品評会・講演会来場者数	—	(H28) 9,194人	600人	1532%	・フラワーコンテスト、花文化展示、シンポジウムの開催		
				花の消費意欲増加の割合	—	84.4%	30%	281%			
				長崎市切花の1世帯あたりの年間購入額	9,581円	8,101円	10,347円	0%	・フラワーコンテスト、花文化展示、シンポジウムの開催 ・学校・福祉施設等での花育体験推進		
				花育体験者数	—	(H28) 2,711人	2,000人	136%			
				花育花き購入頻度が増加した人の割合	—	45.3%	20.0%	227%	・学校・福祉施設等での花育体験推進		
				園芸福祉体験実施施設の「今後取り組みたい」という施設の増加割合	—	100.0%	60.0%	167%			
				プリザーブドフラワー販売額	(H28) 0	25.7万円	20万円	129%	・広域連携による花き加工流通の実証		
				実施地域の適期出荷の出荷増加	(H28) 44.0%	62.7%	60.0%	117%	・需要期における国産花きの安定供給の実証		
電照普及率増加	(H28) 10a	27.3a	25a	115%							

都道府県名	事業実施主体名	事業実施初年度	事業費(うち国費)	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況				具体的な取組内容	事業内容 (検討会構成員、実施回数、実証試験の内容等)	地方農政局長等の意見
					基準年 (計画策定時)	目標年 平成30年	目標値	達成度合			
熊本県	熊本県花き協会	27-29年度	5,616,793円 (5,616,793円)	熊本県花き産出額	(H25) 102億円	99億円	102.1億円	0%	・花き関係者の連携への支援	・構成員：熊本県経済農業協同組合連合会、熊本県、熊本市、熊本県花き園芸農業協同組合、熊本県花き事業協同組合、JA、市町村	熊本県花き産出額について、県内花き業界の関係者の連携強化と花育活動等に取り組んだものの、高齢化による農家戸数や作付面積の減少により生産量が減少したため、未達成となった。 熊本県内2市場における県産花きの販売金額についても、県内花き業界の関係者の連携強化と花育活動等に取り組んだものの、平成30年産は、冬期の低温による生育遅延で3~4月に全国的な供給過多となり荷動きが鈍化、夏期の高温による短茎開花で出荷量が減少し、花き販売量も減少したため未達成となった。 熊本県産宿根カスミソウ、カラー、トルコギキョウの販売額合計については、県内花き業界の関係者の連携強化と花育活動等に取り組んだものの、夏期の高温による短茎開花やヨトウムシ被害の多発により出荷量が減少し、また相次ぐ気象災害で販売量も減少したため、未達成となった。 花育体験人数について、学校単位で花育を実施したものの、体験人数を調整することが困難だったため、目標にわずかに及ばず未達成となった。 今後は、事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、成果目標の達成に向けた取組を指導する。
				熊本県内2市場における県産花きの販売金額 ※数値は熊本県調べ	(H27) 26.7億円	23億円	26.8億円	0%			
				熊本県産宿根カスミソウ、カラー、トルコギキョウの販売額合計 ※数値は熊本県調べ	(H27) 2,241百万円	2,215百万円	2,466百万円	0%			
				花き輸出入本数 ※数値はJA熊本経済連調べ	(H26)0本	69,000本	43,000本	160%	・国内外の需要に対応した生産・供給体制		
				講演会参加人数	—	(H27)300人	60人	500%	・フラワーコンテスト、花文化の展示会等の開催		
				フラワーコンテスト参加人数	—	(H28)40人	40人	100%			
				花育実施後に販売額が増加した生花店の割合	—	(H29)14%	10%	140%			
				花育体験人数	—	(H27)875人	882人	99%	・花育体験及び福祉園芸体験の実施		
	(H28) 1,124人 50組	1135人 45組	99% 111%								
花の購入頻度	(H29) 0.49回	(H29) 0.79回	0.1回	300%							

都道府県名	事業実施主体名	事業実施初年度	事業費(うち国費)	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況				具体的な取組内容	事業内容(検討会構成員、実施回数、実証試験の内容等)	地方農政局長等の意見
					基準年(計画策定時)	目標年平成30年	目標値	達成度合			
大分県	大分県花き産業振興協議会	27 — 29 年度	8,398,521円 (8,398,521円)	大分県花き産出額	(H25)56億円	53億円	60億円	0%	<ul style="list-style-type: none"> 花き関係者の連携への支援 生産技術向上支援 フラワーコンテスト、花文化展示会、シンポジウム等の開催 学校・福祉施設等での花育体験推進 海外現地調査の実施 輸出戦略の作成 フラワーコンテスト、花文化展示会、シンポジウム等の開催 学校・福祉施設等での花育体験推進 フラワーコンテスト、花文化展示会、シンポジウム等の開催 学校・福祉施設等での花育体験推進 	<ul style="list-style-type: none"> 構成員：大分県花き生産者協議会、大分県園芸花市場、丸果大分大同青果、別府花市場、中津花市場、大分園芸花商組合、大分花商業組合、別府花商組合、中津花商組合、夢一輪の会、フラワー装飾大分県技能士会、日本フラワーデザイナー協会大分県支部、大分市華道協会、別府いけばな協会、大分県農林水産部園芸振興室、大分県農林水産研究指導センター農業研究部花きグループ、JA花き販売対策協議会、日本生花通信配達協会大分県支部、ジャパンフラワーネットワーク大分県支部、大分県園芸活性化協議会 	花き産出額及びスイートピーの出荷数量について、花き関係者の連携を図り、フラワーフェスティバルを開催する等、県産花きの振興を図ってきたものの、生産農家のリタイヤに伴う作付面積及び生産量が減少したため未達成となった。 県内への花き販売量について、フラワーフェスティバルを開催する等、県産花きの振興を図ってきたものの、花き需要の低迷や高齢化等による県内産花き生産量が減少したため未達成となった。 今後は、事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、成果目標の達成に向けた取組を指導する。
				スイートピーの出荷数量	(H27)642万本	617万本	707万本	0%			
				花き輸出数量	(H26)47千本	258千本	230千本	115%			
				県内への花き販売量	(H27)29,863千本	29,817千本	30,760千本	0%			
				フラワーコンテスト及び花文化展示会の参加団体数・来場者数	—	(H28)10団体 4,350名	6団体 3,000人	167% 145%			
				花きの販売量の増加	—	6%	3%	200%			
				シンポジウム参加人数	—	119人	110人	108%			
				花育体験人数	—	(H28)3,147人	2,500人	126%			
花き購入頻度の年間増加数	—	(H29)7回	1回	700%							

都道府県名	事業実施主体名	事業実施初年度	事業費(うち国費)	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況				具体的な取組内容	事業内容(検討会構成員、実施回数、実証試験の内容等)	地方農政局長等の意見
					基準年(計画策定時)	目標年(平成30年)	目標値	達成度合			
宮崎県	「みやざき花で彩る未来」推進協議会	27-29年度	6,430,000円(6,430,000円)	宮崎県花き産出額	(H26) 84.6億円	78億円	97億円	0%	・協議会の設置、運営 ・フラワーコンテスト、花文化展示会、シンポジウムの開催 ・学校・福祉施設等での花育体験推進	・構成員：宮崎県、宮崎県JA花き協議会、宮崎県花き生産者連合会、宮崎県花き卸売市場連絡協議会、宮崎県生花商組合連合会、JA宮崎経済連	宮崎県花き産出額について、花の祭典を開催する等、県産花きの振興を図ってきたものの、スイートピーをはじめ冬春品目は高温障害により出荷量が減少したことに加え、生産者数も減少したため、未達成となった。 参加店舗花き消費量比について、花育体験や展示品評会等を開催し、宮崎市の切り花及び園芸用品購入額は増加したものの、達成することができなかった。 講演会参加人数について、関係者の日程の調整がつかず、未実施である。 今後は、事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、成果目標の達成に向けた取組を指導する。
				スイートピー輸出量	(H27) 45万本	74万本	50万本	580%	・国内外の生産・供給体制の検討(輸出)		
				宮崎市二人以上世帯の切り花及び園芸用品購入額	(H27) 14,593円	16,819円	15,323円	305%	・協議会の設置、運営 ・フラワーコンテスト、花文化展示会、シンポジウムの開催 ・学校・福祉施設等での花育体験推進		
				花の祭典2017における来場者数	—	(H28) 96,369人	70,000人	138%	・フラワーコンテスト、花文化展示会、シンポジウムの開催		
				花育体験参加人数	—	(H28) 574名	500名	115%			
				花き展示品評会出品数	—	(H28) 462点	450点	103%			
				講演会参加人数	—	—	150名	—			
				参加店舗花き消費量比	—	(H29) 14,070円	18,327円	0%			
				花育体験参加者	—	(H29) 641名	400名	160%	・学校・福祉施設等での花育体験推進		
花き購入頻度	—	(H29) 107%	105%	102%							

都道府県名	事業実施主体名	事業実施初年度	事業費(うち国費)	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況				具体的な取組内容	事業内容(検討会構成員、実施回数、実証試験の内容等)	地方農政局長等の意見
					基準年(計画策定時)	目標年平成30年	目標値	達成度合			
鹿児島県	かごしまの花消費拡大推進協議会	27-29年度	8,421,639円(8,421,639円)	鹿児島県の花きの生産面積目標	(H24) 1,409ha	1,218ha	1,409ha	0%	・花き関係者の連携への支援 ・生産技術向上支援	・構成員：鹿児島県農協花き部会、鹿児島県スプレーギク研究会、(株)鹿児島園芸花市場、鹿児島県花弁園芸農業協同組合、神永良部花き専門農協、鹿児島県経済農業協同組合連合会、鹿児島県フラワー協会、日本フラワーデザイナー協会鹿児島支部、フラワーパークかごしま、鹿児島県	花きの生産面積について、協議会の花き関係機関の連携を図るとともに、他県と生産技術向上交流の取組等を行ってきたものの、花の価格低迷や高齢化等により生産面積が減少したため未達成となった。鹿児島県の花きの重点品目の出荷量について、協議会の花き関係機関の連携し、重点品目の振興を図ってきたものの、花の価格低迷や高齢化等により生産面積が減少するとともに、相次ぐ台風被害により生産量が減少したため未達成となった。県庁所在都市別1世帯当たりの年間支出金額について、県産花きを使用した花育体験等を取り組み、購入頻度が増加した保護者の割合は高かったものの、家計調査による結果としては未達成となった。フラワーコンテスト出展数について、高齢化による生産者の減少や天候の影響により出展できなかったことにより未達成となった。花文化展示会の開催回数について、計画した展示会の場所の確保ができず、一部開催できなかったことにより未達成となった。講演会参加者数について、園芸家等を招き花のある暮らしを提案する等の講演を行ったものの、当初見込んでいた参加人数よりも大幅に少なかったことから未達成となった。今後は、事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、成果目標の達成に向けた取組を指導する。
				鹿児島県の花きの重点品目(テッポウユリ、レザリーフファン、ソリダゴ)の出荷量	(H27) 38,572千本	33,965千本	42,430千本	0%			
				県庁所在都市別1世帯当たりの年間支出金額	(H25-27) 11,233円	9,178円	11,682円	0%			
				フラワーコンテスト出展数	—	(H27)306展(H28)143展	150展	204% 95%	・フラワーコンテスト、花文化展示、シンポジウム等の開催		
				花文化展示会の開催回数	—	(H27)9回(H28)10回	14回 10回	64% 100%			
				講演会参加者数	—	(H27)150人(H28)250人	400人	38% 63%	・学校・福祉施設等での花育体験の実施		
				花き消費額の増加	—	(H29)5%	5%	100%			
				花育教室の体験人数	—	(H27)2,009人(H28)2,139人	2,000人 2,100人	100% 102%			
				花育を体験して購入頻度が増加した保護者の割合	—	(H29)18%増	5%増	360%			
今後取り組みたい施設の割合	—	(H29)54%	30%	180%							